

ニュース再チェック!



厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は10日、長期的な日本の人口を予測した「将来推計人口」を公表した。1人の女性が平均して産む子供の数が今と変わらない場合、人口は2053年に1億人を割り、65年には15年比で3割減の880.8万人になる。働き手の世代は4割減とさらに大きく減る見通しだ。政府が経済成長に必要な1億人を保つのは難しく、政策は大きな見直しを迫られる。(関連記事3面)

厚労省推計 50年後 880.8万人

人口、2053年に1億人割れ

働き手4割減

将来推計人口は国勢調査 菅義偉官房長官は10日午 査を基に5年に1度改定 後の記者会見で「安倍政 している。出生率は足元 権の施策が一定の効果 を改善し、12年の前回試 算に比べて1億人割れの 時期は5年遅くなった。 それでも総人口は900 0万人すら保てない。 今回の推計は出生率の 見直しを前回試算の1. 35から1.44に上方修正 した。65年の人口は前 推計の813.5万人から 67.2万人増えている。

与えている」と語った。出生率の回復が人口減 を緩めた形だが、人口減 の流れそのものは変わら ない。働き手にあたる15 ～64歳の生産年齢人口 (3面きょうのことば) は足元の728.8万人か ら50年後には452.9万 人へと4割減。65歳以上の高齢者の人 口は338.7万人から30 年後に381.1万人にほ ぼ横ばい。そのため全人 口に占める割合は26.6 %から24.4%に高まる。 人口の9人に2人が高齢 者となる。

現在の日本は20歳から 64歳までの人口が2. 1人で1人の高齢者を受 えており、「騎馬戦型」 の社会。少子高齢化の 進展で、65年には1.2 人で高齢者1人を受ける 「肩車型」になる。 今回の推計では20年代 にかけて出生率が急上昇 し、65年まで1.8を維 持してはじめて、人口は ぎりぎり1億人を維持で きるという見通しが示さ れた。足元の出生率が改 善傾向にあるとはいえ 遅くはない。

2017年4月11日 日本経済新聞朝刊1面(抜粋)

街角景気3月も悪化 3ヵ月連続、人手不足響く

人手不足が企業心理に 影響を及ぼしている。内閣 に声を聞いた。2ヵ月 府が10日発表した3月の 景気の先行指標となる 景気の先行指標は、前 月より1.2ポイント悪化し た。景気判断は「持ち直し 悪化は3ヵ月連続。景況 が厳しいもの、引 感の分かれ目となるも、 悪化は引き続き一服感がみられ 下回った。人手不足入る」と掘り下げた。

2017年4月11日 日本経済新聞朝刊5面(抜粋)



2017年4月13日 日本経済新聞朝刊15面(抜粋)

4月10日、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所は2065年までの日本の人口を予測した「将来推計人口」を公表しました。将来推計人口は国勢調査の結果を基に5年に1度改定されており、出生率と死亡率をそれぞれ現状より高位、中位、低位で試算しています。

働きながら子育てをする女性の増加により、合計特殊出生率が1.45(2015年)に改善しました。今回の推計では、中位推計で出生率を前回の1.35よりも高い1.44で試算しています。そのため、前回の推計と比べて人口減少の速度や高齢化の進行の度合いは緩和されましたが、2065年に日本の人口は8,808万人になります。これは現在の人口1億2,709万人(2015年国勢調査)に比べて3割減です。全人口に占める65歳以上の高齢者の割合は26.6%から38.4%に上昇。そのため、15～64歳の生産年齢人口は7,728万人から4,529万人と4割以上減少します。

戦後、日本の人口は2回のベビーブームを経て増え続け、経済も成長しました。経済成長が2桁になることもあった高度経済成長の時代でも労働人口の増加率は1%程度。人口増よりも生産性の向上が経済成長には寄与しています。そのため、多くの専門家は人口増加率と経済成長率は明確な相関関係はないとしています。しかし、これだけ人口が大きく減少するのは初めてのことで、企業活動や経済、社会にも大きな影響が及ぶと思われます。

既に多くの企業が人口減少により国内市場は縮小すると考え、海外に収益源を求めています。また、子供向けやファミリー向けの商品を販売している企業は商品を大人向けにシフトしています。最近、大人向けのお菓子などが目立つようになったのはこのためです。

そして、最も大きな課題は労働力不足。既に人手不足が企業の業績に影響を及ぼしてきており、事業やサービスの見直しを余儀なくされています。

政府は人口1億人維持に必要な希望出生率を1.8としています。現状はまだ遠く及びません。早急な対応策は外国人の受け入れ増ですが、国内の雇用や治安への影響を懸念する声が強いのが現状です。

新聞(宅配) + 電子版

日経なら、Wプランが断然おトク!

毎月の新聞購読料に +1,000円で、さらに特典も!



「日経W倶楽部」の特典

- TICKET: 美術展・イベントなど 無料招待・割引
- 会員限定: セミナー開催
- 書籍・グッズなど: プレゼント

「日経W倶楽部」の詳細はこちら <http://www.nikkei4946.com/nwc/>

日経W倶楽部 検索

